

知っちょる？ 統計やまぐち

⑤ 来月「経済の国勢調査」

平成24年1月19日掲載

「経済センサス」をご存知ですか？全産業分野のすべての事業所・企業の活動内容を全国一斉に調査し、経済の実態を明らかにする新たな経済の国勢調査です。昨年(2011年)6月に公表された「経済センサスー基礎調査」の結果から、私たちの暮らしや雇用を支える事業所・企業に関するトピックスを2つご紹介します。

まず、従業員の雇用形態についてです。県内の事業所・企業で働く雇用者の数は52万9千人。このうち、正規職員の割合は63%で、雇用者の4割はパートやアルバイト、日々雇用などの非正規職員となっています。これを男女別に見ると、雇用者全体では男性54%、女性46%とほぼ半数の割合ですが、正規職員の割合は男性が79%に対し、女性は45%で半数を上回る55%を非正規職員が占めています。山口県の正規職員の割合は、男女とも全国平均(グラフ参照)より高くなっていますが、女性は男性に比べ多様な働き方を選択し就業している姿がうかがわれます。

次に、事業所の従業員規模です。県内の事業所数(民営)は6万8千。これを従業員規模別で見ると、1~4人が60%で最も多く、10人未満が全体の80%を占めています。100人以上は0.9%で、製造業、医療・福祉の2業種で半数を占めています。1事業所当たりの平均は9人、中小の事業者が地域経済の屋台骨を支えていると、改めて認識させられる結果です。

今年2月1日には、わが国で初めて「経済センサスー活動調査」が実施されます。全国620万事業所を対象に、売上高などから経済活動の実態を把握します。事業所・企業の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

